

令和 8 年

議会運営委員会記録

令和 8 年 7 月 9 日

和 光 市 議 会

議 会 運 営 委 員 会 記 録

◇開会日時 令和8年7月9日（木曜日）
午前 9時30分 開会 午前11時07分 閉会

◇開催場所 第2委員会室

◇出席委員

委 員 長	吉 田 武 司 議員	副 委 員 長	伊 藤 妙 子 議員
委 員	内 田 あ や 議員	委 員	菅 原 満 議員
委 員	鎌 田 泰 春 議員	議 長	小 嶋 智 子 議員
副 議 長	待 鳥 美 光 議員	委 員 外 議 員	松 永 靖 恵 議員

◇欠席委員 なし

◇出席説明員 なし

◇事務局職員

議会事務局長	亀 井 義 和	議 事 課 長	金 井 宏 之
議事課長補佐	大 沢 明 子	総 括 主 査	秋 元 佑 介
主 査	藤 本 妙 子	主 任	小 林 厳

◇本日の会議に付した案件

特定事件7 議会だよりの編集、作成について
特定事件9 その他議会運営に関することについて
令和8年度議員研修会について
次回の議会報告会について

午前 9時30分 開会

○吉田武司委員長 ただいまから、議会運営委員会を開会します。

出席委員数が定足数に達していますので、会議は成立しています。

会議には、議長とオブザーバーとして副議長に出席を求めていますことを報告いたします。

また、委員会進行の中で、委員外議員からの発言の申出の許可は委員長に一任願います。

本日の案件は、特定事件7、議会だよりの編集、作成について、特定事件9、その他議会運営に関することについてとして、令和8年度議員研修会について、次回の議会報告会についてです。

本日の資料を確認します。

本日の資料は、お手元に配付してありますとおりです。

初めに、特定事件7、議会だよりの編集、作成についてです。

お手元に、わこう市議会だよりナンバー133の原稿を配付しております。

2回の編集事前打合せを経ました掲載内容について、事務局から全ページ一括して説明を願います。

金井議事課長。

○金井議事課長 私のほうから御説明申し上げます。

お手元の資料を御覧ください。

A3サイズの原稿は、第1回の編集事前打合せで掲載を決め、第2回の編集事前打合せで追加・修正となった箇所が反映されたものとなっております。この原稿から、紙面の構成と編集業者へ修正の指示が必要となる箇所について、表紙から最終ページまで通して説明いたします。

まず、7ページの表紙について説明いたします。

表紙の構成は特集として、6月定例会の主な議案、議会を傍聴してみませんか、どこでも市議会の活動を見たり聞いたりできますとなっております。

修正箇所について説明いたします。議会を傍聴してみませんか、傍聴の注意点の最後のスマートフォン等の文言と写真等撮影及び録音の、録音の文言の順番を入れ替えるよう修正いたします。7ページについては以上です。

次に、8ページについて説明いたします。

8ページの構成は、6月定例会の一般質問で各議員が取り上げた問いと、それに関する執行部の回答、その他に質問した内容が掲載されております。

修正箇所について説明いたします。

1か所目は、内山恵子議員の危機管理監の回答の下から3行目、「役員が交代した場合の継続性など、課題があるため」となっている箇所の「点」を削除するよう修正いたします。2か所目は、待鳥美光議員の質問の1行目、「埼玉県以外の近隣自治体」となっている箇所の「近隣自治体」を「近隣都県」に修正いたします。8ページについては以上です。

次に、9ページについて説明いたします。

9ページの構成は、一般質問、トピックスとして、議会報告会を開催しました、議場d e子ども議会を開催予定、常任委員会の審査、意見書になります。

修正箇所について説明いたします。1か所目は、議会体験会を開催予定については、別紙の修正案を用意しましたので、この後に御協議をいただき、決まった内容に修正いたします。2か所目は、総務環境常任委員会の1つ目の問いで、「施行区域」となっておりますが、こちらの議案の表記に合わせ、「施行地区」に修正いたします。3か所目は、同じく総務環境常任委員会の2つ目の問いで、「精算金」となっておりますが、こちらの議案の表記に合わせ、漢字を「清算金」のさんずいのほうに修正いたします。9ページについては以上です。

次に、10ページについて説明いたします。

ページの構成は、議案等の採決結果、令和7年度政務活動費収支報告状況をお知らせします。9月定例会の開催予定、聴覚・視覚障がいのある皆さまへ、定例会・臨時会の審議結果です。

10ページの修正はありませんでした。

1つ漏れていましたので、追加で説明いたします。8ページの上の段のところに、用字の表記については、基本的に標準用字用例辞典に基づいた用字を使用していますが、名称や制度、事業名等はそのままの名称としていますという文章を追加しております。説明は以上になります。

○吉田武司委員長 それでは、まず1ページ目からいきたいと思います。7ページについて、入替えのところが1か所あります。議会を傍聴してみませんかというところの下の写真等とスマートフォンを入れ替えるというところで、このことについてはよろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

では、そのように入替えでよろしく願いいたします。

あと何かお気づきの点はございますでしょうか。

伊藤委員。

○伊藤妙子委員 ちょうど真ん中あたりの、囲みで、全議案の各議員ごとの賛否については10ページを御覧くださいのところなんですけれども、今回は陳情もあったので、各議案、陳情の各議員ごとのというふうに、これまでの過去ののを見ると入っているんですけれども、入れたほうがいいのではないのでしょうか。

○吉田武司委員長 今の御意見についていかがですか。

これまでには全議案、陳情の各議員ごとの賛否については10ページを御覧くださいというふうに陳情が入っていたんですけれども、今回も陳情があったので、陳情も追加するということがよろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

では、陳情のところを追加していただければと思いますので、よろしく願いいたします。

7ページについてはよろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、8 ページ、一般質問のところで、用字の表記については入れるという方向でよろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

では、入れるということですのでよろしくお願いいたします。

あと、各一般質問については、各議員と確認をしていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

菅原委員。

○菅原満委員 1 点、赤松議員の企画部長の答弁のところで、私の福祉部長の答弁のところで、御家族、御意見の御が漢字とひらがなで分かれています、これについては、後ほど用字の関係で御確認いただくということですのでよろしいでしょうか。

○吉田武司委員長 金井議事課長。

○金井議事課長 こちらのほう後日確認し、同じように合わせて修正いたします。

○吉田武司委員長 では、そのようにお願いをいたします。

鎌田委員。

○鎌田泰春委員 私の一般質問のその他の質問のところで、最後の「など」を、皆さんと同じように「等」にそろえていただければと思います。

○吉田武司委員長 それではそのようにお願いします。

ほかにございますでしょうか。

〔「なし」という声あり〕

ほかにございませんので、8 ページはそのようにいたします。

次に進みます。9 ページ目のところです。議会体験会を開催予定のところを、資料というか①のところで、このように変更するという案がありますけれども、よろしいですか。そこに時間とかも入れたほうがいいですか。

金井議事課長。

○金井議事課長 こちら、あくまで現時点の予定ということで、時期的なものもありますので、日にちだけでいいかなと。まだ内容も決まっておりませんので、そういう幅を持たせたほうがよろしいかと思います。前回お話があったように、事前募集をするということになりますと、来る人数によっては午前、午後という可能性もあるかもしれませんので、それを想定して入れていくという形で、時間はなしという方向でお願いいたします。

○吉田武司委員長 内田委員。

○内田あや委員 11月7日に、皆さんの予定の結果決まったということですのでよろしいですか。

○吉田武司委員長 金井議事課長。

○金井議事課長 こちらはあくまでも11月7日の予定ということですが、集計を取りまして、和光・まちづくりの市民の会からは、両日オーケーということでお話をいただいておりますが、

赤松議員のほうの希望では、午後を希望したいという話も出ております。あと、緑風会と公明党が両日オーケーなんですけれども、11月1日が希望という意見もあります。また、無所属の会・維新については、両日ともオーケーという形の報告をいただいております。ほかの無会派の方については、既読はされているんですけれども、連絡がないという状態なので、問題ないのかなということです。そういう状況になっておりますので、日にちをいつにするかというのを決めていただければ、ここに日にちを載せられるという話になってくるかなと思います。

○吉田武司委員長 議会の子ども議会の開催予定というところで、日にちについては、この後に、議会報告会の日程等を決めることがありますので、それをここに入れるということでしょうか。あと、この文言については、このような内容でいいですか。

内田委員。

○内田あや委員 タイトルの議場d e子ども議会というところも、この後協議ということですかね。

○吉田武司委員長 これは先日これでいくという話には一応決まっていて、あとは日にちをというふうになっていたかなと思うんですけれども。

内田委員。

○内田あや委員 そうなんですネ。

そこが一昨日の時点では若干あやふやだったので、確認でした。であれば、私は賛成です。

○吉田武司委員長 取りあえず、11月の1日か7日で、皆さんに議場を使うときはということで、ちょっと事前に調査をさせてもらって、子ども議会開催というところで進めてきたので。

この内容でいいですか。あと日にちだけの問題なんですけれども。

菅原委員。

○菅原満委員 開催予定ということで、詳細は追ってお知らせしますというのを入れておいたほうが。また議会だよりのほうにも、体験会のほうが決まったらまた、議会だよりへの入れ方も決まるわけなんですけれども。

○吉田武司委員長 文章の一番下に入っているんです。開催時間や申込み方法等については、詳細が決まり次第ホームページでお知らせしますと入っています。

菅原委員。

○菅原満委員 では、それでいいです。

○吉田武司委員長 それでは、この内容でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

あとは、日にち等を後で調整したいと思います。

あと、常任委員会の変更についてはよろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

それではほかになれば、9ページについてはこれでよろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、そのように決定しました。

次に進みます。10ページについてです。

ここについては変更がないということですが、皆さんお気づきの点がございましたら御意見ををお願いします。

鎌田委員。

○鎌田泰春委員 私の欠席のところなんですけれども、欠席事由を入れたほうがいいかなと思ひまして、感染症のためというのを追記してもらえるとありがたいと思ひまして。議案第47号を採決した日を感染症のため欠席しましたというような形で、修正をお願いできればと思ひます。

○吉田武司委員長 欠席理由を入れるというのは今までなかったので。

鎌田委員。

○鎌田泰春委員 そうなんですか。

○吉田武司委員長 この間も確認させていただきましたよね。この内容でいいですかというところで。

鎌田委員。

○鎌田泰春委員 それで確認して、もう一回考え直したところ、修正しようかなと。

○吉田武司委員長 いつも欠席理由は、こういうときには載せていないので。

鎌田委員。

○鎌田泰春委員 分かりました。

○吉田武司委員長 菅原委員。

○菅原満委員 欠席理由も、本会議・委員会とも具体的なことは一切言わない、体調不良によりとしか言わないので。個人情報もあるので、そういう対応をしてきましたので。

○吉田武司委員長 本会議と委員会でも、委員長とか議長が報告するときには体調不良というだけで、あとこういう文面のときにはそういうのを載せないの。いいですか。

鎌田委員。

○鎌田泰春委員 分かりました。

○吉田武司委員長 では、変更はないということで。

10ページについてはよろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、10ページはそのような形で決定しました。

次に進みます。あと、全ページで何かまだお気づきの点があったら御意見ををお願いします。

伊藤委員。

○伊藤妙子委員 9ページのところで、今気がついたんですけれども、意見書の枠の中の下の意見書案第2号のほうの要旨の書いてある行で、文字の大きさが、その次の行と明らかに違うような感じがしまして。その要旨という文字も、上の1号とちょっと違うのか、子供たちの健

やかな成長を保証し、全ての方が安心して子育ての部分がちょっと大きいように感じるので、ここは確認していただければと思います。

○吉田武司委員長 この辺は事務局で確認していただいて、上と同じように修正してもらっていいですか。

金井議事課長。

○金井議事課長 文字数の関係もあるかと思いますが、その辺も確認して、見栄えがいいように調整させていただきます。

○吉田武司委員長 委員外議員から発言の申出がありますので、委員長として発言を許可します。

松永靖恵委員外議員。

○松永靖恵委員外議員 7ページと10ページにちょっと関わることなんですが、陳情第3号について、反対とかではなくて、不採択、例えば全会一致不採択とかという表現がよろしいのかなと思ったんですが。採決取るときもたしか採択か不採択かということだったかと思うんですが。

7ページの主な議案の陳情第3号と、あと10ページの議案等の採決結果の全議員が反対した陳情というところで、採択することに賛成か反対ということ、何か議長がおっしゃったので、採択か不採択という表現がいいのかなと感じました。

○吉田武司委員長 このところは、7ページ目のところは不採択で（全員）にすればいいんですか。それとも、反対を抜けばいいんですか。

松永委員外議員。

○松永靖恵委員外議員 そのほうがいいのかなと感じたんですが、これは皆さんで協議していただければと思います。

○吉田武司委員長 今、7ページ目の陳情のところ、不採択、全員反対というところと、あと、10ページのところの全議員が反対した陳情というところの表現を変えてくれたらという意見があるんですけども、いかがでしょうか。7ページについては、全議員反対のところを、反対を削除。あと10ページのところは、全議員が反対した陳情ではなくて、全議員が不採択した陳情になるのかなと思うんですけども。

待鳥副議長。

○待鳥美光副議長 7ページのほうなんですけれども、その上の議案については賛成全員という表現ではないですか。ここは賛成なしとかというのでは駄目なんですかね。なんか賛成全員、全員反対というのは、ちょっと一致していないし、誰も手を挙げなかった、立たなかったということなので、賛成なしというのはどうですか。

○吉田武司委員長 不採択は置いておいて、（賛成なし）とするということですか。

待鳥副議長。

○待鳥美光副議長 はい。そうすると、上の表現と一応一致します。

○吉田武司委員長 7ページについては、今、待鳥副議長から提案があり、不採択（賛成なし）という御意見が出ましたけれども、いかがでしょうか。そのような形でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

では、そのように変更いたしますので、事務局は賛成なしというところで修正願います。

あと、10ページについてはいかがいたしましょうか。

鎌田委員。

○鎌田泰春委員 10ページについては、もう既に、全員バツという記載があるので、特段全員が反対した陳情とわざわざ文面にしなくても、見れば賛成者、反対者が分かるかなと思いますので、不採択となった陳情とかでもいいのかなというふうに思いました。

○吉田武司委員長 伊藤委員。

○伊藤妙子委員 過去の今年の5月の発行のものが、不採択となった陳情というふうになっていきますので、それと同様のほうがいいと思います。今の鎌田委員の意見に賛成です。

○吉田武司委員長 菅原委員。

○菅原満委員 過去、全議員が反対した陳情というふうに載せてきているものもあるので、その辺をどうするのか。今後どちらで統一していくかということも含めて、協議したほうが良いのかなと。

○吉田武司委員長 鎌田委員。

○鎌田泰春委員 基本的には反対があつて、賛成反対が分かれた場合、この後ろのほうのところについてはバツと丸で表記するので、例えば仮に1人賛成だけでも反対になった、他が反対で不採択となった場合には、必ず不採択となった陳情となるので、そこは不採択となった陳情で合わせたほうが、他の賛否が分かれたときでも利用しやすいのかなとは思いますが。

○吉田武司委員長 今後、このところの表記についてはいかがいたしましょうか。今御意見があったように、不採択になった陳情でそろえていくか。今後1人の方が賛成して不採択になった場合は、そのような表記になる。全員が反対したから、全議員が反対した陳情というふうに載せていたけれども、それを不採択になった陳情で統一していくかということなんですから、いかがでしょうか。

内田委員。

○内田あや委員 本件に関しては賛成です。

ただ、今後、陳情で賛否が分かれたものと、全員が不採択を選択したものが両方あった場合に、スペースの問題で2つこの帯のようなものが入ることはあまり良くないかなと思うので、その場合は賛否が分かれた、または不採択となった陳情という形で臨機応変に御対応いただくのが良いのかなと思いました。

○吉田武司委員長 今のところは陳情が2つあつて、1つは全員が反対で、もう一つは賛成、反対があつて不採択になったというところで、2つ載せるのは、紙面的にもどうかというところがあるので、不採択になった陳情と整えたほうがいいということですね。

内田委員。

○内田あや委員 その場合は不採択となった、または、といった形で、臨機応変に対応していただければという意見です。

○吉田武司委員長 この表記についてはいかがいたしますか。

不採択となった陳情というところでまとめさせていただいてよろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

では、このところについては、不採択となった陳情に変更していただければと思います。よろしくお願いいたします。

松永委員外議員。

○松永靖恵委員外議員 10ページの9月定例会の開催予定のところで、昨年の8月号のところでは、議案に対する質疑の後に、予算決算常任委員会という記載だったんですが、今回常任委員会だけになっているので、これは何か変更になった理由とかがあるんですか。

○吉田武司委員長 17日は予算決算常任委員会しかないですね。

金井議事課長。

○金井議事課長 こちら、今回こう書いたというのは特段の理由はありませんので、今御発言のあったとおり、前回、前年度と同じように合わせていきたいと思います。修正をかけて、17日のほうも確認して、その辺同じような形で修正をかけてまいります。

○吉田武司委員長 では、そのようにしていただければと思います。

9月2日の議案に対する質疑の後の常任委員会に予算決算を入れるというところと、17日のところの常任委員会に予算決算を入れるというところで、その2点の変更をお願いしたいと思います。

松永委員外議員。

○松永靖恵委員外議員 あと最終日の24日なんですが、委員長報告があってから、いきなり討論になっているので、正しくは委員長報告、質疑、討論、採決、閉会という形かと思います。確認をお願いいたします。

○吉田武司委員長 金井議事課長。

○金井議事課長 松永議員のおっしゃるとおり、今回は委員長報告、質疑、討論、採決、閉会となっておりますので、前回と同じように、松永議員の言うとおりの修正をかけてまいります。

○吉田武司委員長 それでは、そのように修正をお願いいたします。

菅原委員。

○菅原満委員 これは24日閉会予定となっているんですけれども、17日に予算決算常任委員会をやって、18日で、その後ずっと連休に入ってしまうということで、何かあった場合に事務局と調整が取れないことになってしまっていて、当日迎えるということになるんですけれども、委員長報告やほかも含めて、これは日程的にどうなのかなというふうに思うんですけれども、最終的に日程は議会運営委員会で決めるということになるかと思うんですけれども、その辺は何か

あったときに対応できないという、当日になってから対応するということになるのではないかなと。どうしてこういうふうな形になっているのか。

○吉田武司委員長 18日は調査休会になるんですかね。それはまた今度の8月の議運で決定することですね。あとはこれ連休になってしまうので、今後8月の議運で日程を決めるときに、そこを調査休会というふうにするか。でないともうあとは連休になって、24日になってしまうので、それか、閉会を25日に引っ張るかというところの話になってくるんですけれども、これは予定ですね。

〔「予定です」という声あり〕

だから、その辺は後で変わってもいいんですよ。

休憩します。（午前10時07分 休憩）

再開します。（午前10時12分 再開）

9月定例会の開催予定については、正式な日程、市政に対する一般質問の議員発言順位は、8月25日開催予定の議会運営委員会で決定しますというふうに載っていますので、このままの日程で表記させてもらってよろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、そのようにいたします。

それでは、議会だよりについてはよろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、事務局においては、ただいまの意見のとおり進めてください。

特定事件7、議会だよりの編集、作成については以上です。

次に、特定事件9、その他議会運営に関することについてとして、令和8年度議員研修会についてです。

今、皆さんから出された資料を今一度お配りいたします。

議員研修会について、前回提案会派から各説明をしていただき、会派に持ち帰って協議していただいたと思いますけれども、その御意見をいただければと思います。

伊藤委員。

○伊藤妙子委員 公明党としましては、本会派から出した杉本康介先生のほうのスケジュール的なもの等をちょっと確認したところ、まだはっきりとしたことが、回答ができないということでありました。もしも都合が合えば、ぜひこの杉本康介先生をお勧めなんですけれども、次の候補として、会派の中では、無所属の会・維新のほうの提案のあった（1）のほうの人口減少社会において持続可能な社会基盤をいかに実現するかという、こちらの北海道大学大学院農学研究院の橋本先生を、本市にとっても大きな課題でもあるし、第2候補として推す意見がまとまりました。

○吉田武司委員長 菅原委員。

○菅原満委員 うちのほうも、不登校問題、大変重要な問題ということで提案させていただき

ましたが、なかなか日程、あるいは予算の関係があるので、確認は取っていませんが、遠方から来ていただくことになるということで、そういった意味では、この南三陸町の佐藤前町長という提案もいただいているので、こちらでもよろしいのかなと。特に東日本大震災では、『首長たちの戦いに学ぶ災害緊急対応100日の知恵』ということで、いろいろな首長が当時のことを述べている本もありますし、特に志津川は、たしか志津川小学校の避難所運営の関係の本も出ていて、災害時の対応ということで参考になるお話、元首長の町長の立場、あるいはその後の対応についてお話いただければいいのではないかとということで、うちのほうの案も出しましたが、もしものときは、そちらの佐藤前町長でもよろしいのかなということで話をしました。

○吉田武司委員長 鎌田委員。

○鎌田泰春委員 無所属の会・維新といたしましては、北海道大学の特任教授の橋本先生もいて、交通費等の部分が未確定なところもありますので、そこら辺は少し予算のところも含めると、なかなかハードルとしては高いのかなとは思っております。無会派の松永議員から出されている佐藤先生については、もう既に謝礼額とかもある程度見込みがあるということですので、こちらの佐藤先生にお願いできるのがいいのかなと思っております。

○吉田武司委員長 内田委員。

○内田あや委員 テーマに関しては、どれも大変興味深い内容を御提示いただきまして、本当にありがとうございます。今お話を伺っておりますと、具体的に先方とお話を進められていただいているところが幾つかあるのかなと感じていまして、そういったところのほうを、先方と既にやりとりをされているという背景も踏まえると、優先的に御検討いただくのがいいのかなと感じたんですけれども、いかがでしょうか。

具体的なところで言うと、公明党と松永議員のところで、ほかに具体的に話を進められているところはあるんでしょうか。

○吉田武司委員長 ほかにはないと思います。一応提案のときに、そういうところまで詰めてというのはお話をしましたけれども、ここまではなっていないかなと思います。

○伊藤妙子副委員長 議事を委員長と交代します。

吉田委員。

○吉田武司委員 緑風会といたしましては、新しい風・希望の不登校の子供支援、無所属の会・維新のテーマが不登校支援というところで、子供も今、和光市も不登校の方がかなり増えているということなので、そこのところについて勉強したいなというところがありました。

また今後これを進めていく中で、無会派からの提案は、復興から創生というところで、これについては、もう交通費、宿泊費込みで、いろいろな調整をしていただいているので、決定するにはスムーズに進むのかなということで、ここを3案目でとなっています。緑風会からは以上です。

○吉田武司委員長 議事を副委員長と交代します。

今回日には、1月の後半か2月しかないということですよ。予定が取れないということ

で。その中で調整をしていただいているところもあると思うんですけども、あとはないので、そこまでに調整がつくのかなとも思うんですよね。ほかのところでは、公明党のところも、もう少し確認を取りたいというところがありました。

ただ、半年というのはあつという間に来てしまうので、テーマと講師だけは決めておかないと。いかがいたしましょうか。

菅原委員。

○菅原満委員　うちの会派で、不登校ということで、お二人提案させていただいているんですが、年明けだと、大学の先生だと、ちょうど年度末と入学試験の季節になるので厳しいかなとは思っています。あと来ていただいての宿泊費、交通費含めてどうなのかというのがあるので、その辺の確認がちょっと取れなかったということがあります。

○吉田武司委員長　待鳥副議長。

○待鳥美光副議長　会派のほうから提案している、下のほう、不登校ジャーナリストの石井しこうさん、こちらが、直接交渉はしていないんですけども、テーマとやりたいということが決まれば、この交渉はやると決めないとなかなか交渉できないではないですか。なので、この中で順位を決めて、それで、最初のほうから事務局で連絡を取っていただくとかはできますか。それで、そこで成立すればそこをお願いするという形の順位決めがいいのかなと思うんです。なかなかやるかどうか分からないのに交渉するというのは難しいので。

○吉田武司委員長　これまでも順位を決めて、交渉で整ったところで決まっていくということもやってきたので、そのような考えでもいいと思うんですけども、どういうふうに順位を決めていくか。

伊藤委員。

○伊藤妙子委員　公明党から提案した杉本康介さんに対しては、皆さんからあまり意見はなかったんですけども、付け足しますと、この方は、たしか財務省で国会対策とかを10年ほどされてきて、和光市が不交付団体であることをかなりいろいろと分析をされているところがあったみたいで、セミナーに参加した際に、不交付団体は和光市だけだったんですけども、その財政的な分野ですごく長けていて、和光市の不交付団体の在り方というのについて、もっと知りたいと思うような講師でありました。

ただ、まだ連絡を取っている状況で、1月、2月はセミナーも結構多いので、都合が合うかどうかということもあります。

○吉田武司委員長　松永委員外議員から発言を求められましたので、発言を許可いたします。

松永委員外議員。

○松永靖恵委員外議員　新しい風・希望と無所属の会・維新の方から推していただきありがとうございます。1月下旬となると、多分皆さんが提案されている講師の方、半年前とは言いつつ、それぞれ大分忙しくなってきます。その点、佐藤前町長には、一応1月下旬はちょっと空けていただいている状況です。予算につきましても、もうこの10万円で全部込みということで、

全て交渉済みでございますので、ぜひ御検討いただければと思います。

公明党が提案されていた杉本康介先生、いろいろ調べたところ、大体1人辺りが1万5,000円というような感じで、それを17名分となると25万5,000円になってしまうので、もしそうなった場合、そのお金をどこから出すべきか、例えば議員会のお金から出すのか、皆さんの政務活動費から出すのかというのも、検討していかなければいけないのかなと思っております。

○吉田武司委員長 内田委員。

○内田あや委員 決め方のところでなんですけれども、予算のところであったり、日程のところはまだ分からない部分がそれぞれあると思うので、純粹にテーマとして、どのテーマに興味があるかというところに焦点を絞って、これまでは話合いでやられていたのかもしれないですが、このテーマは、結構個人個人意見が違うのではないかなと思っていて、例えばですけれども、ここに関しては、1人2票を持って多数決とか、そういうやり方は考えられないんでしょうか。

話合いで終着するのかなというのが、今までの流れを伺っていて思いました。

○吉田武司委員長 子供の不登校については、先ほど菅原委員のほうから、大学教授の方は年明けは忙しいだろうということで、緑風会から話をした子供の不登校については、両方とも大学の教授ということなので、やはり難しくなるのかなというところもあるのと、公明党から提案されているものは、ちょっと講師料が高くなるというところで、講師料については、これ公費でやるんですよね。10万円以上だから、どこから出すということは今までしていなかったの、そこも難しいのかなというふうに思うんですよね。

休憩します。(午前10時29分 休憩)

再開します。(午前10時39分 再開)

内田委員。

○内田あや委員 和光・まちづくり市民の会といたしましては、やはりこの和光市の財政というところのテーマに非常に興味あると感じておりまして、最も聞いてみたいと思ったのは公明党の御提案の内容です。

続いて、防災のところですね。非常に今、全国的なテーマになっておりますし、御経験者の話を聞けるという貴重な機会だと思うので、第2案としては松永議員の御提示の案を推したいと思っております。

○吉田武司委員長 鎌田委員。

○鎌田泰春委員 無所属の会・維新といたしましても、公明党の案と松永議員の案がいいのかなと思っております。

○吉田武司委員長 菅原委員。

○菅原満委員 新しい風・希望は、先ほど佐藤前町長というお話をいたしました、できるならば、不登校ということで経験されて、いろいろなところで講演されている樋口先生も上げられたらいいなと。石井しこうさんと両にらみになりますけれども、予算の範囲内で受けていた

だけるかどうかというのもあるので、佐藤前町長、あと、うちのほうの提案しているお2方に連絡が取れて、もしも受けていただけるならばという対応です。

○吉田武司委員長 伊藤委員。

○伊藤妙子委員 最初に言ったとおり、公明党から出させていただいている杉本康介先生に、もし引き続き打診してお願いできればということが、まず第1希望です。そして、第2希望としては、今、不登校、また災害、防災ということで、大変ここで迷うところですけれども、実際セミナーを受講されたということで、東京学芸大学の森崎先生を2番目の候補として、そして、松永議員の挙げていただいた復興から再生へということで、佐藤前町長を3番目ということで挙げさせていただきます。

○伊藤妙子副委員長 議事を委員長と交代します。

吉田委員。

○吉田武司委員 緑風会としては、公明党の提案された研修テーマというところで、1番手、またやはり不登校というところで、新しい風・希望の樋口先生と石井先生のところが、いいかなと思っておりますけれども、本来であれば子供の不登校だったんですけれども、いろいろな話を聞いていて、財政のところもしっかりやっていかなければいけないというところで、公明党のを1番にさせていただきます。

○吉田武司委員長 議事を副委員長と交代します。

それでは、公明党の自治体財政を中心とした議会のチェック機能強化についてを1番目の交渉者とさせていただいてよろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、そのようにいたします。

2番目といたしまして、不登校についてというところでよろしいですか。

鎌田委員。

○鎌田泰春委員 数えたわけではないんですけれども、松永議員の案もいいという声が多かったかなと思ったんですけれども、どっちが多かったか分かりませんが。

○吉田武司委員長 不登校の問題では、3つの会派から出ているんですよね。復興のところについては2つの会派からというところで、公明党のところが、無所属の会・維新の不登校についてとなっているというところで、2番目の交渉者としていただいて、3番目に松永議員のところというふうに。

内田委員。

○内田あや委員 改めて確認ですけれども、災害のところを御希望された会派は、当会派含めて、公明党と無所属の会・維新で3会派が推薦するような形だったので、伺っていたところだと。

○吉田武司委員長 公明党、3つ目の案が復興だったんですよ。

内田委員。

○内田あや委員 なるほど。分かりました。

○吉田武司委員長 2番目はどのようにいたしましょうか。

でもこれ、2つだけじゃなくて、3つぐらいあったほうがいいですよ。

内田委員。

○内田あや委員 2番目を不登校にするということであれば、不登校はかなりの多くの会派が出されているので、その中の、どれを1番にするのかという議論をして、3番目を松永議員にするのかとか、今のお話を伺っているところだと、新しい風・希望の御提案で、お2方、講師の先生を出されていますけれども、不登校を推された方々はどちらの先生を御希望されたんでしょうか。それと、あと無所属の会・維新の、東京学芸大を推された会派もあると記憶しています、そこをちょっと明確に、もう一回御意見を伺いたいです。

○伊藤妙子副委員長 議事を委員長と交代します。

吉田委員。

○吉田武司委員 緑風会としては、不登校のというところで、新しい風・希望からのこの2人の講師のところと、あと無所属の会・維新からの提案の東京学芸大学の不登校支援というところを、一番最初に、ここがいいというふうにはお話をしていましたが、先ほど皆さんから伺っていて、財政のところも大事だなということで、今回は財政のところ、2番目に不登校というふうにさせていただきました。

菅原委員のほうから説明があって、樋口先生と交渉して、駄目な場合は石井先生に交渉するというふうに言われていたので、その案がいいと判断いたしました。

○吉田武司委員長 議事を副委員長と交代します。

待鳥副議長。

○待鳥美光副議長 それでいいかと思うんですけども、一応御認識いただきたいのは、この樋口先生と石井しこうさん、全く立場が違いますよね。それで、樋口先生は御自身も体験があって、それで研究者としていろいろなことを学術的にも研究されている方です。石井しこうさんのほうは、ずっと東京シューレというフリースクールに関わってきて、それで、自身の体験から、すごく多くの当事者とかフリースクールとか、そういったところに取材活動されていて、今かなり注目されているドラマ、タツキ先生は甘すぎる！、もう終わりましたけれども、その監修もされていて、テレビとかにも結構出ています。研究ではなくて、当事者がそのままそのジャーナリストとして不登校に取り組んでいるという人なので、かなり立場、それから視野が違うかなと思うんです。だから、そのあたりで、この2番目になった場合、どういう話を皆さんがお聞きになりたいのかというところはちょっと大事かなと思っています。

○吉田武司委員長 伊藤委員。

○伊藤妙子委員 そうすると、新しい風・希望としては、どちらのほうがお勧め度が高いということですか。

一応、今の情報を踏まえた上で、優先順位としては菅原委員がおっしゃったので結構です。

ただ、そういう立場の違いがあるので聞ける話としては結構変わってくるかなというところがあります。

○吉田武司委員長 内田委員。

○内田あや委員 もし、2番目を不登校にするという前提でお話をする、和光・まちづくり市民の会としては、新しい風・希望の樋口先生、石井先生、両方を伺うのはちょっと大変なのではないかなと思っていて、お1人に絞るほうがいいのではないかなとも思うんですが、そうすると、樋口先生、石井先生が2番、3番とくると、松永議員の案は4番という理解になりますけれども、そこを明確にしておいていただけたらと思います。私は樋口先生を推していいということであれば、樋口先生を2番にさせていただいて、3番に松永議員の案という形も、公平性という観点ではありなのではないかなと思っています。

○吉田武司委員長 不登校については、3つあるんですけども、そのどこにいたしましょうか。

まず、新しい風・希望から2つ出ていて、あと、無所属の会・維新から1つ出ています。公明党は無所属の会・維新の不登校支援がいいというふうにも言われていたんですけども。

伊藤委員。

○伊藤妙子委員 私のほうで、その東京学芸大学の森崎先生と言ったのは、実際受講されて、いいと思われたというところを申し上げたんですけども、実際に聞いた体験ということが結構強いかなと思ったんですね。それで、松永議員の佐藤先生というのも、私が知識不足だなんですけども、いろいろなところでお話をされているとか、なんかそういった情報があれば。松永議員のほかの皆さんはよく御存じなんですか。

○吉田武司委員長 松永委員外議員。

○松永靖恵委員外議員 南三陸町、先ほど菅原委員からもお話出たように、志津川とか、やはり津波が予想していたより高かった。皆さんが御存知の防災庁舎のところが、要するに遺構として今残ってしまっていて、そういう面では佐藤前町長は有名な方だと思っております。現在南三陸311メモリアルの顧問をされてしまっていて、各自治体の職員、議員、いろいろなところで講演をされていらっしゃる。添付資料のほうにも、出されている本とかもちょっと出しておりますが、実際にどこでやっているとかいうのは書いてはなくて、大変失礼いたしました。

○吉田武司委員長 不登校のテーマについてはどういたしますか。どれか一つに絞るところで。

鎌田委員。

○鎌田泰春委員 私のところは正直、会派で出してはいるんですけども、岩澤議員から出していただいた都合上、私も詳しく伝えることができずで、内容としては、正直選考に値しないのかなと今思っております。

なので、新しい風・希望に上げていただいたテーマの中でどちらかというのが妥当かなと思っておりまして、私としては、1個目の樋口くみ子先生のほうが興味があるかなと思っています。

す。

○吉田武司委員長 皆さんから御意見をいろいろいただきまして、不登校の支援については、新しい風・希望の樋口くみ子氏の希望が多いのかなというふうに思うんですけども、不登校については、この樋口くみ子氏を交渉相手としてよろしいですか。

菅原委員。

○菅原満委員 正直大学のほうへ連絡して、連絡先を直接確認しないとなので、時間がかかるということだけ御了解いただければと思います。

○吉田武司委員長 それでは、時間がかかるということですけども、事務局と連携して連絡を取っていただければと思いますので、2番目の交渉は樋口くみ子氏ということでよろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

では、そのようにいたします。

それで、3番目の交渉については、松永議員から提案をいただいた復興から創生へということで、前南三陸町長の佐藤氏と交渉をしていただければと思います。このように決定してよろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、そのように決定いたしました。

休憩します。（午前10時58分 休憩）

再開します。（午前11時02分 再開）

次に、次回の議会報告会についてです。皆さんから御意見をいただければと思います。あらかじめ会派で協議していただいたと思いますので。

菅原委員。

○菅原満委員 新しい風・希望は7日、8日のどちらでもということで話をしてきましたけれども、対象は子供から大人までということで、子供を対象とすると、やはり送迎とか安全を考えると、駐車場が使えないとということで、7日、8日を想定していましたけれども、11月1日の日曜日というのが一つ案として挙げられるのかなと考えますが、皆さんの日程予定等や、各会派で協議した内容等があると思いますので、一応そういう考えもあるということで協議していただければと思います。

○吉田武司委員長 内田委員。

○内田あや委員 和光・まちづくり市民の会としましても、両日程参加は可能とのことでしたが、7日だと本祭、市民まつりのメイン開催日の前日ということで、設営等でかなり慌ただしいという状況も踏まえ、11月1日が良いのではという話になりました。

○吉田武司委員長 鎌田委員。

○鎌田泰春委員 無所属の会・維新は両日参加可能となっております。

○吉田武司委員長 伊藤委員。

○伊藤妙子委員 公明党も両日、参加可能ですが、駐車場も使えて、より集まりやすい日程ということで、1日のほうを第1希望というふうに意見がまとまっております。

○伊藤妙子副委員長 議事を委員長と交代します。

吉田委員。

○吉田武司委員 緑風会といたしましても、11月7日、1日、両方可能なんですけれども、できれば1日のほうが、駐車場も使えるのでいいということで、また、開催時間については午後がいいというふうにまとまりました。

○吉田武司委員長 議事を副委員長と交代します。

皆さんの意見をまとめますと、11月1日がいいということで、11月1日開催でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、11月1日に開催とさせていただきます。

時間については午後でよろしいですか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは時間については午後1時30分から3時までということにしたいと思います。また、議会だよりに掲載するところは、日にちだけとさせていただきます。

また、議会事務局においては、市民まつり実行委員、あるいは担当課の方に伝えていただいて、議事堂を使うので、その辺のところもよろしくお願いいたします。

それでは、次回の議会報告会については以上となります。

次に、次回の議会運営委員会の日程を確認します。

今回は7月28日、火曜日、午前9時30分から特定事件8、議長の諮問に関することについてとして、議会改革についてとなります。

そのほか委員の皆様から何かございますか。

〔「なし」という声あり〕

それでは、ほかにございませので、以上で本日の案件は全て終了しました。

本日の記録及び会議の公開資料については、委員長に一任願います。

以上で議会運営委員会を閉会いたします。

午前11時07分 閉会

和光市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 吉 田 武 司